

## ICP-OES (SEIKO SPS3500)

### 利用する上での注意点

- ・ 依頼分析は原則として行いません。共同研究としての分析を希望する場合には、ご連絡下さい。
- ・ 装置を使用する際は、必ず使用講習(指導)を受けてから行うようにしてください。装置としては可能な操作でも、本装置の運営上行わないこともあります。
- ・ 操作の過失による装置の破損は、修理費用を負担して頂きます。
- ・ 本装置は、すぐに分析できる状態まで前処理を行った試料を持参し、利用者本人に分析して頂きます。また、定量分析の際に使用する標準液は、各自ご準備ください。
- ・ 前処理はサンプルを酸分解などしたのちに溶液とし、フィルター(0.45  $\mu\text{m}$ )をかけたものとします。試料に土壌成分(微細な鉱物やシリカの粉など)などが混入していると、ネブライザーの詰まりの原因となり、高価な修理費用が発生します。
- ・ 有機溶媒を含んだ試料はプラズマを不安定にし、測定できない可能性があります。また、フッ化水素を含む試料の分析は現在行っておりません。
- ・ 廃液は、各人が持ち帰るようにしてください。また、基本的に東京大学で廃棄処理を行っていない元素(Os, Tl, Be)の分析は禁止します。分析する元素については必要に応じてご相談ください。
- ・ 使用記録は必ず記載するようにしてください。(使用前のガスのボンベ圧、使用時間、分析金属など)
- ・ 試料の測定後は、必ず 5 分程度プラズマを点灯した状態で純水で洗浄するようにしてください。また、廃液チューブに残存した溶液はペリスタポンプですべて排出してください。最後に、使用後はペリスタポンプのチューブを装置から外すようにしてください。装置の温度調節電源スイッチは切らないで下さい。
- ・ トラブルが発生した場合は、装置に記載している連絡先にすぐに報告するようにしてください。

### 利用の流れ

1. 必要に応じて事前にご相談下さい。
2. 申請書の提出、審査(目的、対象、サンプル数)
3. 使用者講習会への参加(\*講習会は 6 or 4 ヶ月に 1 回行う予定です。)
4. 利用時間の調整と
5. 分析結果を電子ファイルで持ち帰ってください。プリントアウトは基本的にはしないでください。
6. 使用料金の精算

### 費用負担

- \* 使用時間に応じて 100 円/分 課金します。

### authorship

- \* ご自信で分析されたデータについては共著論文として頂く必要はありませんが、本装置の利用によって得られたデータで論文投稿する場合は、謝辞に本プロジェクトの装置利用に付いて記載してください。

### 連絡先

[atorufu@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp](mailto:atorufu@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp) (藤原 徹)